

「高度経済成長期の奈良」

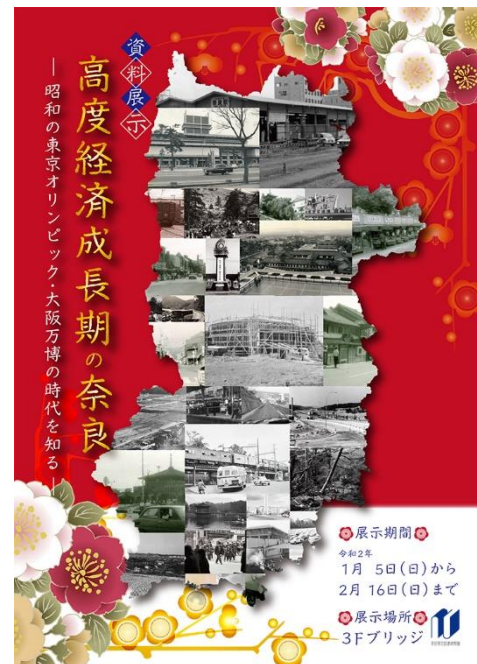
～昭和の東京オリンピック・大阪万博の時代を知る～

展示期間 令和2年(2020)1月5日～2月16日 於: 3Fブリッジ

「展示概要」より

日本は、昭和30年(1955)から昭和48年(1973)まで年平均10%以上の経済成長を遂げ、経済大国に発展しました。この間には、昭和39年(1964)の東京オリンピックや、昭和45年(1970)の日本万国博覧会といった国際的なイベントの開催もあり、東海道新幹線や名神高速道路・東名高速道路といった大都市間の高速交通網も整備されていきました。

ここに、日本経済が飛躍的に成長した高度経済成長期(昭和30年代～40年代)の奈良を撮影した写真を展示します。



1 都市化する奈良

(1) 人口増加と住宅地開発

大阪都市圏のベッドタウン化



3 学校教育

児童・生徒数の変化



(2) 都市機能の整備

道路網の整備



4 公共施設の整備

(1) 県庁舎の建て替え



2 観光施設 (1) 観光客の誘致

奈良公園整備



遊園地



○1964 東京オリンピック聖火リレー



(2) 自動車対策